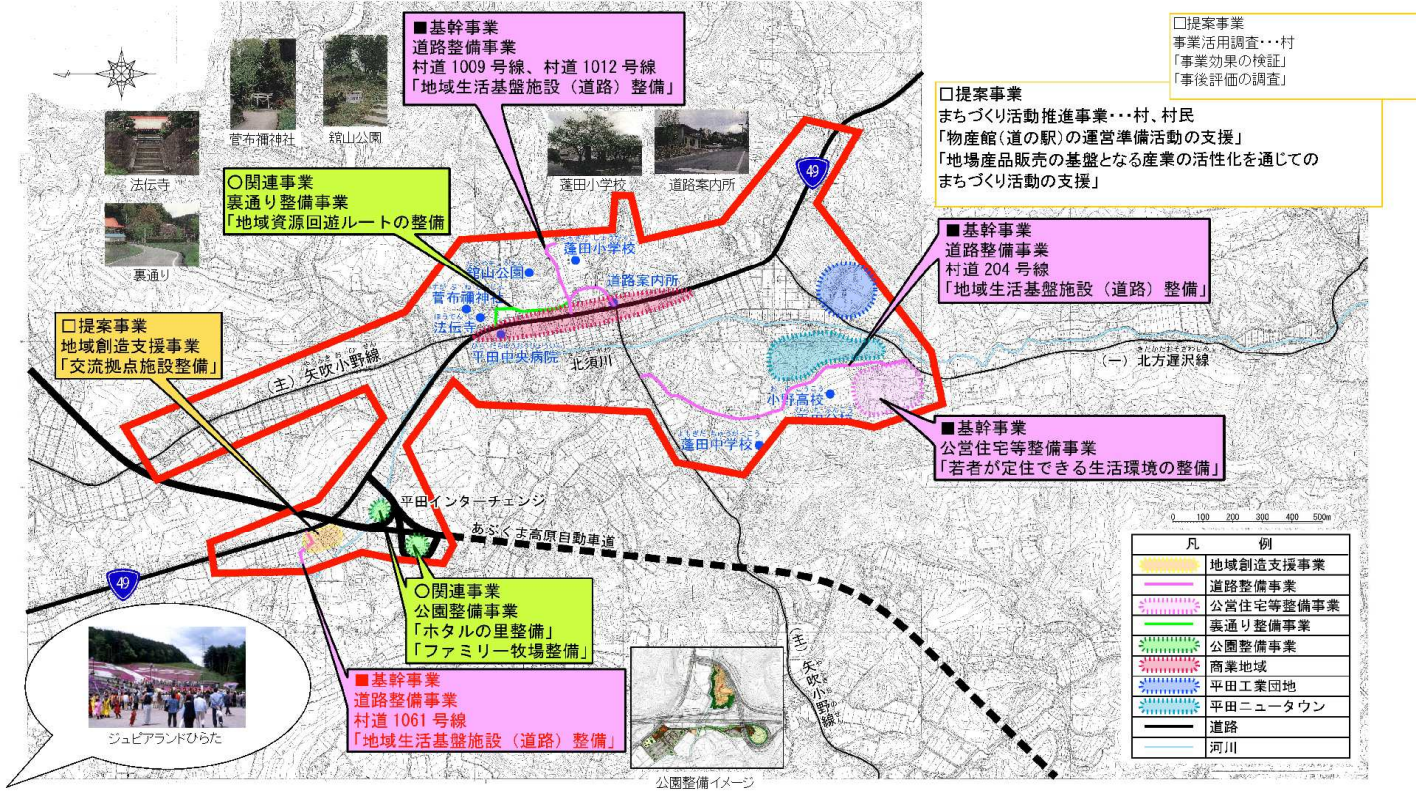


様式2-2 地区の概要

上蓬田地区(福島県平田村) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値
住んでいる人が、誇りがもてる居住テリトリーの整備と交通環境改善による交流拠点の創造 ○若者が定住できる生活環境の整備による中心商業地域のにぎわいを再生する。 ○あぶくま高原の地域(観光)資源を生かすとともに交流施設整備による一層の交流人口拡大により地域振興を図る。 ○道路等の整備により住地域と中心商業地とのアクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。		平田村交流人口	単位: 人/年	70,011	H17	95,000 H23
		今後の定住意向	単位: %	55	H17	60 H23
		年間商品販売額	単位: 万円/年	405,000	H14	420,000 H23
		観光交流センター村外利用者による年間商品販売額	単位: 万円	0	H21	151,449 H23
			単位:		H	H
						
まちの課題の変化	・これまで、村へ滞在し、交流する機会や場所がなかったが、地域振興施設や住民参画の取り組みにより、通過する道路利用者を捉え、交流を図ることで経済的にも活性化が図られるようになった。 ・より一層、地域コミュニティの場の創出と、防災の視点から各施設・整備の機能強化が求められている。まちの魅力を高めるために、地域資源を生かした住民協働のまちづくりを進める必要がある。 ・観光交流拠点と既存商業街区を徒歩でつなぐ動線の確保が求められている。既存商業街区の活性化が求められている。					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・住民自らが沿道の美化活動を実施する組織づくりを行う。 ・住環境整備と雇用の場の拡充を図る。 ・地域資源のネットワークを整備し、村全体への回遊性を高め、更なる交流人口の拡大を図る。 ・産業間の連携を強化し、魅力ある地場産品をつくり、既存商業街区の活性化を図る。 ・地域コミュニティの強化を目指し、多目的に活用可能な施設整備を図る。 ・まちの地域資源を散策できるルートづくりを行う。					